

携帯型 2W デジタル トランシーバー

取扱説明書

SRD595

SRD595-BT Bluetooth®



お買い上げいただき、ありがとうございました
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください
お読みになった後は、大切に保管してください
この無線機は国内専用モデルです。海外では使用できません

目 次

はじめに	1	全体設定	24
正しくご使用いただくために	1	ノーマルモード	28
防水性能について	1	UC (ユーザーコード) を変更する	28
① 1つのグループで使う	3	通話するチャンネルを変更する	28
複数の混信があるときは“テレポート機能”を 使います	3	上空用のチャンネルを使用する	28
便利な機能“エアクローン”	3	2つのチャンネルを使用する	29
便利な機能“エリアリサーチ”	3	マイクの感度を変える	29
② 2～5グループで使う	4	アクセスキーを押した時の動作を変える	29
① 始めに運用モードを変更する	4	CUE 機能に関する設定	29
② 運用モードを設定したら、次に自分の グループを選びます	5	Bluetooth ヘッドセットを使う	29
MERGE (マージ) 機能 (所属グループの 垣根を取り払って全員と連絡を取り合う)	5	簡易機能の変更	30
便利な機能 ① 使用するエリアの電波状態から 混信の少ないチャンネルを自動で 探します ～ エリアリサーチ機能 ～	6	簡易設定で変更できる項目	31
便利な機能 ② CUE (キュー) 機能でメンバーに 合図を送る	7	全体設定	33
便利な機能 ③ ロック機能	7	正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す (リセット)	37
便利な機能 ④ エアクローン機能	7	故障かな? と思う前に	37
ご使用になる前の準備	8	電波干渉について	38
充電をする (充電時間は約3時間)	8	2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意	38
リチウムイオンバッテリーの取り付け	8	アフターサービス	39
スピーカーマイク、タイピンマイク、 イヤホンの接続 / 取り外し	9	定格	39
各部の名前と機能	10	安全上のご注意 ～必ずお読みください～	40
困ったときに	11	索引	41
もし通話ができなくなったときは エアクローンで同期をし直す	11		
グループ以外の通話が聞こえる時は グループIDを変える	12		
簡易機能の変更	13		
簡易設定で変更できる項目	14		
応用編	15		
テレポート機能を変更する	16		
テレポート機能の項目リスト	17		
マニュアルでチャンネルを変える	18		
グループチャンネルに名前を付けて表示する	19		
ワンクリックハンズフリー機能	19		
マイクの感度を変える	20		
アクセスキーを押した時の動作を変える	20		
CUE 機能に関する設定	21		
特定のスタッフだけと通話する (ホットライン機能)	21		
Bluetooth スピーカーマイク / ヘッドセットで ワイヤレス通信を行う (SRD595-BT のみ)	22		
SSM-BT30/SSM-BT20 で ハンズフリー運用をする	23		
SSM-BT30/SSM-BT20 のマイクの 感度を変える	23		
Bluetooth に関する設定だけを初期化 (リセット) する	23		

はじめに

本機をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受けることが必要です。本機をご使用になる前に、別紙「登録申請の手引き」を参考にして、必ず登録申請を行い、登録状の交付を受けてください

登録申請および開設申請につきましてはご購入いただきました販売店、または当社国内営業部あてにお問い合わせください

注意

登録状の交付を受けずに本機を運用し、電波を出した場合、不法無線局となり、一年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることになりますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください

- ◎ 本機は技術基準適合証明を取得し、ARIB 規格に準拠していますので、他社のデジタル簡易無線機(種別コード「3R 3S 3T 3U」)との互換性を確保しています。ARIB 規格以外の機能の互換性はありません
- ◎ 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、本機を“分解”“改造”することは、法律で禁止されています
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります
- 免責事項
- ◎ 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません
- ◎ 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません

正しくご使用いただくために

- ◎ 本機にマイクやイヤホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります
当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません
- ◎ バッテリーを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります
- ◎ 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください
- ◎ 通話する際は、本機から約5センチ離して普通の声量で話してください
- ◎ 点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください



Li-ion 20

リチウムイオンバッテリーはリサイクルできます

リチウムイオンバッテリーが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP67 相当(防塵等級 6^{*1}、防水等級 7^{*2})の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください

- ◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子や CHG 端子の保護カバーなどに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高压の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください
- ◎ 本機は、水中での使用はできません

※ 1 : 粉塵の侵入から完全に保護されている

※ 2 : 真水 / 静水に水深 1 m の位置で 30 分間没しても機器の動作に影響をおよぼさない

YAESU
CONNECT Lite

ヤエスコネクトLiteは、2つのチャンネルを交互に監視し、グループ以外の混信があると瞬時にチャンネルを移動して混信を回避します（DCM：デュアルチャンネルモニター）
2つのチャンネルの両方に混信がある時は、テレポートキーを長押しするとスタッフ全員のSRD595が別のチャンネルグループに自動で移動します

お買い上げ後そのまますぐに使えます (設定不要の簡単操作)

電源を入れてボリュームを調節するだけ。あとはアクセスキーを押して話すだけです

① ツマミをまわして電源オン（つまみを中央くらいにします）

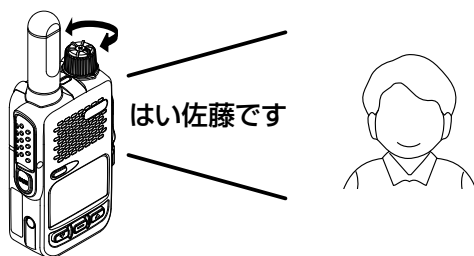


② アクセスキーを押しながら話します



③ 話が終わったらアクセスキーを放すと受信に戻ります

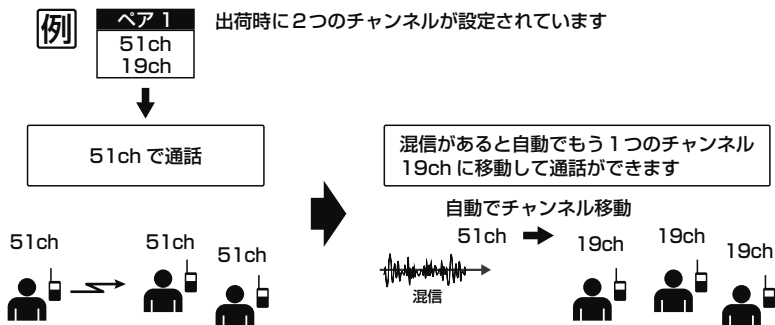
④ ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します



① 1つのグループで使う

出荷時は“1つのグループで使う”モードになっています

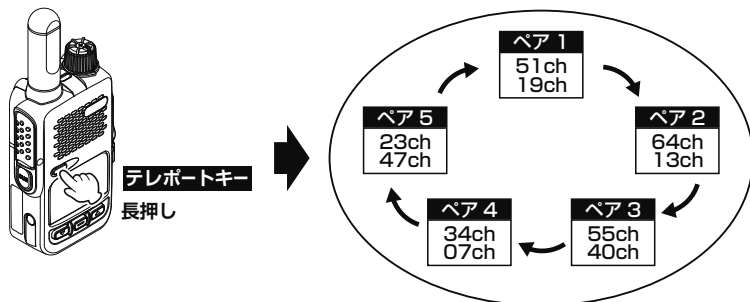
2～5グループで使う場合はグループ数に合ったモードに変更します（次ページ参照）



複数の混信があるときは“テレポート機能”を使います

アクセスキーを押してもLEDが赤色で点滅して送信できないときは51chと19chの両方に混信があると考えられます

この場合は1台のテレポートキーを長押しすれば、グループ全員が自動で別のペアチャンネルに移動できます



ペアチャンネル（組み合わせ）は5種類あり、テレポートキーを長押しするたびにスタッフ全員のペアチャンネルが自動で移動します

便利な機能“エアクローン”

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで、グループ内全てのトランシーバーが同じ設定になりますのですぐに通話ができるようになります（7ページ参照）

便利な機能“エリアリサーチ”

通話をする前に、使用するエリアの電波状態をチェックして混信の少ないチャンネルを自動で探してトランシーバーに設定する“エリアリサーチ”を行うことをお勧めします（6ページ参照）

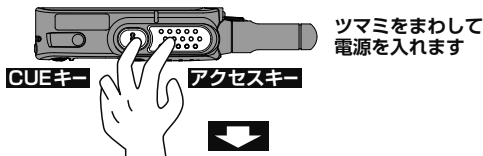
② 2～5グループで使う

複数のグループが別々に連絡を取り合うホテルなどの連絡に最適なモードです
フロント係は“Aグループ”、客室係は“Bグループ”、駐車場係は“Cグループ”、レストランは“Dグループ”のように、グループが別々に連絡を取り合う運用が可能です
グループの数に合わせて運用モードを“2GROUP”、“3GROUP”、“4GROUP”、“5GROUP”から選びます

① 始めに運用モードを変更する（工場出荷時は 1 グループモードです）

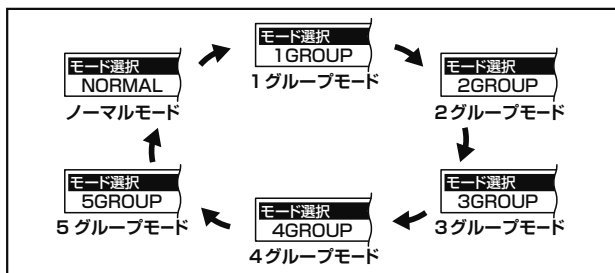
モードを変える準備を行う

- ① 1 台の SRD595 で CUE キーとアクセスキーを押しながら電源を入れます



モードを変える

- ② [▼] または [▲] キーを短押ししてグループの数を選びます



エアクローンで同期する

- ③ 他の SRD595 をテレポートキーを押しながら電源を入れます



- ④ モードを変えた SRD595 のアクセスキーを短押しします

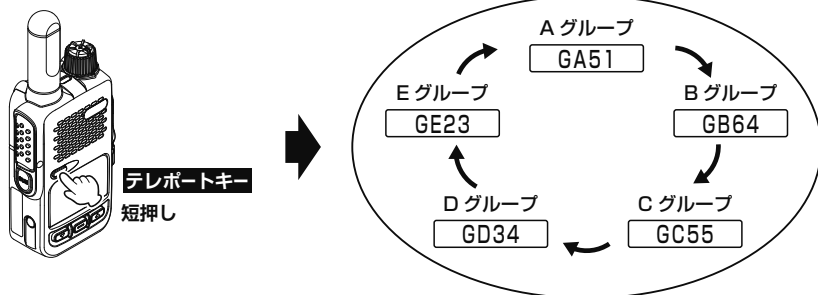
情報が転送されて全ての SRD595 が自動で同じモードになります



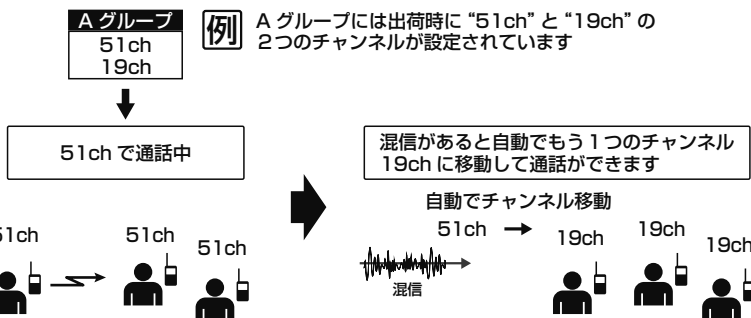
運用モードは始めに設定を行えば、その後は変更する必要はありません

② 運用モードを設定したら、次に自分のグループを選びます

テレポートキーを短押しするたびに A グループ～E グループが順番に切り替わります (5 グループの場合) 選んだグループのスタッフとだけ通話ができます



- 他のグループと通話をするときは、テレポートキーを短押ししてグループを選びます
- 各グループで2つのチャンネルを交互に監視し、混信があると自動でチャンネルを移動して混信を回避します



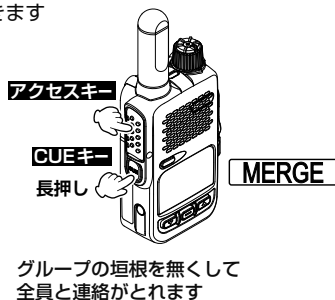
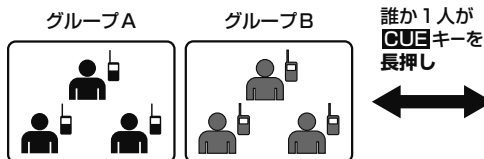
- 緊急時は [CUE] キーの長押しで、マージ機能によってグループの垣根を無くして全てのスタッフと連絡を取り合うことができます
- マージ機能から通常のグループモードに戻るときはもう一度 [CUE] キーを長押しします

MERGE (マージ) 機能 (所属グループの垣根を取り払って全員と連絡を取り合う)

CUE キーを長押しすると、グループ全員と連絡をとることができます

1. CUE キーを長押しします → "MERGE" の表示になったら 放します
2. アクセスキーを押して話すと、全てのグループ全員と連絡がとれます
送信中は "MERGE" の表示が点滅します
3. 再び CUE キーを長押しすると、各グループごとの通話に戻ります
もとのグループチャンネル表示に戻ります

普段はグループごとに通話をしています



便利な機能 ①

使用するエリアの電波状態から混信の少ないチャンネルを 自動で探します ～ エリアリサーチ機能 ～

- 設定後はエアクローンで全てのSRD595を同期してください
- 混信の少ないエリアでは、エリアリサーチを行う必要はありません



工場出荷時は混信回避で使うA1チャンネル～Lチャンネルには以下のチャンネルが割り当てられています
エリアリサーチでそのエリアの混信の少ないチャンネルに書き変わります

A1-ch	A2-ch	B1-ch	B2-ch	C1-ch	C2-ch	D1-ch	D2-ch	E1-ch	E2-ch	L-ch
51	19	64	13	55	40	34	07	23	47	68

エリアリサーチを長時間(最低 30分～1 時間)行うほど、より混信の少ないチャンネルを見つけることができます

① 1 台の SRD595 でエリアリサーチを始める

テレポートキーを押しながら
電源を入れます



[▼] または [▲] キーを短押しして
“エリアリサーチ”を選びます



[←] キーを短押し



エリアリサーチを開始します

エリアリサーチ
実行中

“転送可能”の点滅表示になったら

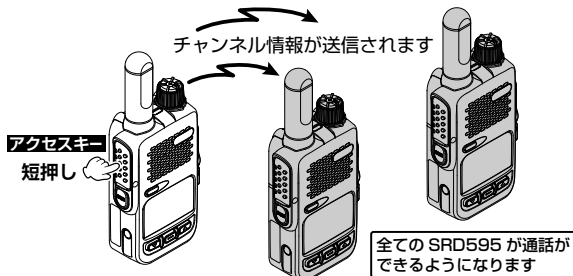
エリアリサーチ
転送可能

② 他の SRD595 にチャンネル情報を同期する

他の SRD595 のテレポート
キーを押しながら電源を入れます



エリアリサーチをした SRD595 のアクセスキーを短押しすると
全ての SRD595 が新しいチャンネルへ同期します

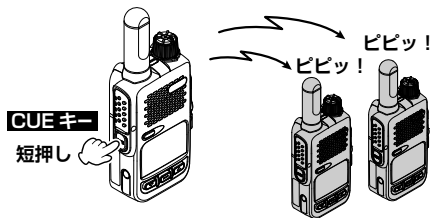


便利な機能 ②

CUE（キュー）機能でメンバーに合図を送る

接客中などに、接客相手にわからないようにメンバーに合図を送ることができます

アラーム音などを変更することができます。設定の変更方法は応用編の“CUE 機能に関する設定”（21 ページ）を参照してください



便利な機能 ③

ロック機能

アクセスキーと CUE キー以外のキーをロックすることができます

[▼] キーを**長押し**すると各キーをロックします
もう一度 [▼] キーを**長押し**するとロックを解除します



便利な機能 ④

エアクローン機能

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や通話に関する設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで、グループ内全てのトランシーバーが同じ設定になりますのですぐに通話ができるようになります

①

全ての SRD595 でテレポート
キーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



②

1 台の SRD595 のアクセスキーを
短押しすると全ての SRD595 が
同期されます

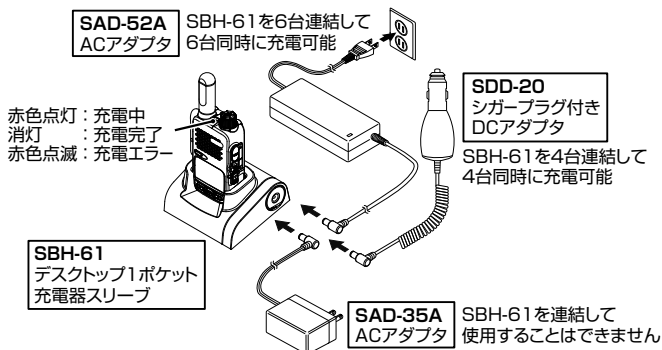


③

全ての SRD595 が
通話ができるように
なります

ご使用になる前の準備

充電をする（充電時間は約3時間）

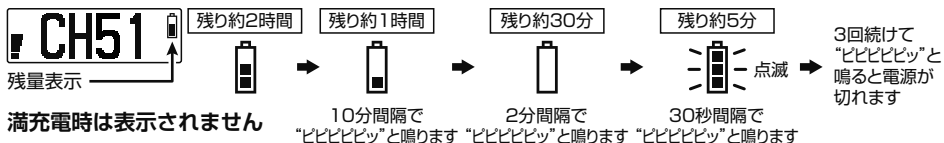


● 使用可能時間*：約 13 時間（ノーマルモード時）

※送信出力 2W、送信 5：受信 5：待受 90 の割合で運用時バッテリーセーブ機能オン、Bluetooth 機能オフ

ローバッテリーアラート機能

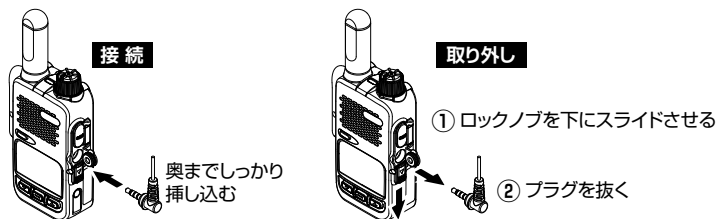
電池が少なくなると電池マークの表示とアラーム音で知らせます



リチウムイオンバッテリーの取り付け

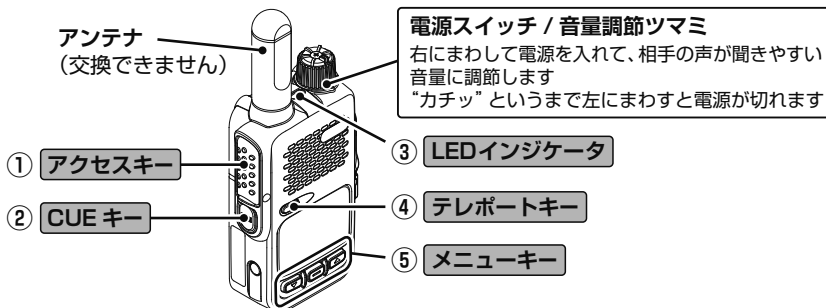


スピーカーマイク、タイピンマイク、イヤホンの接続 / 取り外し



i スピーカーマイク、タイピンマイク、イヤホンは当社純正オプションを使用してください
当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

各部の名前と機能



① アクセスキーの操作

押しながら話をします

押ししている間は送信を続け、放すと確実に受信に戻ります
・ 周りが騒がしくても確実に受信に戻ります

送信する時に“チョン”と押します（ワンクリックハンズフリー）

話している間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻ります（あらかじめ設定が必要です：19 ページ参照）
・ 話をやめても周りが騒がしくて受信に戻らないときはもう一度“チョン”と押すと受信に戻ります
・ 話している間押し続けければ、放すと受信に戻ります

③ LED インジケータ

緑点灯：受信中

緑点滅：・ 異なるグループ ID を受信したとき
（音声はミュートになっています）
・ 個別の設定（機能設定項目）を変更中

赤点灯：・ 送信中
・ エアクローンデータ転送中

オレンジ点灯：マージ（MERGE）機能で送信中

赤と緑の点滅：エリアリサーチ機能動作中

赤の速い点滅：チャンネルが使用中で送信できないとき

② CUE キーの操作

1 グループモード時

短押し → CUE 機能でスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます
長押し → ホットライン機能がオンのとき
特定のスタッフとだけ通話することができます
また構内アナウンス用ワイヤレススピーカーから音声を出すことができます
ホットライン機能がオフの時
短押しと同様に CUE 機能でスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます

2 ～ 5 グループモード時

短押し → CUE 機能でスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます
長押し → マージ機能でグループ全体で連絡を取り合うことができます

④ テレポートキー

1 グループモード時

短押し → 機能は割り当てられていません
長押し → 複数の混信があるときにテレポート動作でチャンネル自動変更

2 ～ 5 グループモード時

短押し → 別のグループへ移動します
長押し → 機能は割り当てられていません

⑤ メニューキー（[▼]/[－]/[▲]）の操作

	▼キー	[-]キー	▲キー
通常時	短押し → 機能は割り当てられていません 長押し → キーをロック もう一度長押し → ロック解除	短押し → 機能は割り当てられていません 長押し → 簡易メニュー設定画面	機能は割り当てられていません
設定モードの時	設定する項目を [▼]/[▲] キーで選び [-] キーを短押しします → [▼]/[▲] キーで設定を変えて [-] キーを短押しして決定します		

困ったときに

もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や、通話に関する設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで再び通話ができるようになります

①

全てのSRD595でテレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



“受信待機”の表示になるまで待ちます

エアクローン
受信待機

②

1台のSRD595のアクセスキーを短押しすると全てのSRD595が同期されます



設定した情報が送信されます

エアクローン
送信実行

③

全てのSRD595が通話ができるようになります

グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、スタッフ全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID が“025”になっています（他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）
- ・ID が異なる他のグループの信号が入ると、自動で混信のないチャンネルへ移動します。ID が異なる信号はミュートになり聞こえません

1 台のグループ ID を変更してからエアクローンで全ての SRD595 を新しいグループ ID に同期する

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます
緑色で点滅

テレポートキー

エアクローン 受信待機

“受信待機”の表示になるまで待ちます

②

[▲] キーを短押しします ID 番号が表示されます

“001”～“499”のいずれかが表示されます

▲キー 短押し

IDが“025”の場合

例

グループID 025

③

[－] キーを短押しします

[-]キー 短押し

一桁目の数字が点滅します

グループID C25

④

[▼]/[▲] キーを使って ID 番号を設定します

▲キー ▼キー

⑤

[－] キーを短押しすると数字が確定して左の桁に移動します

短押し [-] キー

グループID 025

⑥

左の手順を繰り返して“001”から“499”の任意のID番号にします

グループID 025

⑦

[－] キーを短押しすると ID 番号が確定します 設定項目に戻ります

短押し [-] キー

グループID 123

⑧

エアクローンで全ての SRD595 と ID 番号を同期させます

操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（11 ページ）を参照してください

簡易機能の変更

使用頻度の高い13種類の設定項目（次ページの表）をすぐに呼び出し変更することができます

①

【－】キーを長押しします



設定項目が表示されます



②

【▼】/【▲】キーを短押しして
設定する項目を選びます



③

【－】キーを短押しします



現在の設定が点滅します



④

【▼】/【▲】キーを短押し
して設定を選択します



⑤

【－】キーを短押しします
設定項目に戻ります



設定が反映されます



⑥

アクセスキーを短押しします
通常の運用画面に戻ります



簡易設定で変更できる項目

機能項目	出荷時の設定	機能
1 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります。明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
2 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
3 CUEビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
4 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
5 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に内部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
7 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
8 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します。放すと受信に戻ります。 ハンズフリー感度小 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします。 ハンズフリー感度中 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います。 ハンズフリー感度大 キーを 短押し で送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします。 連続送信 キーを 短押し すると送信を開始し、もう一度 短押し するまで送信を続けます。 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります。
9 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ～レベル 15（数字が大きいくほど明るくなります）
10 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン/オフできます	ON	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします ON ノイズキャンセル機能をオンにします
11 ブルートゥース (SRD595-BT のみ表示されます) Bluetooth 機能をオン/オフできます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
12 ブルートゥースマイク感度 (11 ブルートゥースが ON の時のみ表示されます) Bluetooth スピーカーマイクやヘッドセットのマイク感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
13 ブルートゥース初期化 (11 ブルートゥースが ON の時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化できます		1. “13 ブルートゥース初期化” にあわせませす 2. [－] キーを 短押し します “実行する” が点滅します 3. [－] キーを 短押し します “初期化完了” が点灯 → “11 ブルートゥース” の項目が表示されたら終了です

応用編

必要に応じて各種設定を変更することができます

テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



緑色で点滅

テレポートキー

“受信待機”の表示になるまで待ちます

②

▼/▲キーを短押しして設定する項目を選びます



▲キー 短押し
▼キー 短押し

A1-ch
CH51

A1-chを選んだ場合の表示

③

[-]キーを短押しします



[-]キー 短押し

現在の設定値が点滅します

A1-ch
CH51

④

▼/▲キーを短押しして設定値を変えます



▲キー 短押し
▼キー 短押し

A1-ch
CH54

⑤

[-]キーを短押しすると設定を確定して設定項目に戻ります



[-]キー 短押し

A1-ch
CH54

⑥

他のSRD595のテレポートキーを押しながら電源を入れます



緑色で点滅

テレポートキー

“受信待機”の表示になるまで待ちます

⑦

設定を変えたSRD595のアクセスキーを短押ししてエアクロウンで他のSRD595を同期させます



アクセスキー 短押し

設定した情報が送信されます

⑧

そのままご使用になれます

テレポート機能の項目リスト

グループ内の全ての SRD595 の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します

テレポートキーを押しながら電源を入れると、設定モードになります

項目	出荷時の設定	機能と表示
エアクローン 1 台の SRD595 で設定した内容を他の SRD595 にコピーすることができます	—	操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（11 ページ）を参照してください
グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違くと通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っていて混信が起こる場合は、ID 番号を変えます		“001”～“499”の中から選びます 操作方法は“グループ以外の通話聞こえる時はグループ ID を変える”（12 ページ）を参照してください
テレポート送信 （1 グループモード時のみ表示されます） 混信があるときにスタッフ全員の SRD595 が別のチャンネルグループに自動で移動するテレポート機能を ON/OFF します	 （通常は ON で使用します）	テレポートキーを長押しするとスタッフ全員の SRD595 が別のチャンネルグループに自動で移動します テレポートキーを長押ししてもテレポート機能は動作しません なお、他のスタッフがテレポート機能を動作させた場合は自分の SRD595 は別のチャンネルグループに自動で移動します
A1-ch ～ L-ch A1-ch から L-ch のそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	 	“CH01”～“CH82”の中から選びます - すでに他の ch（A1-ch ～ E2-ch、L-ch）に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません “CH15”は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”（18 ページ）を参照してください
エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、A1-ch ～ L-ch の全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに変更します	—	エリアリサーチ中（点滅） 使用状況の分析完了（点滅） 他の無線機に送信中 他の無線機に送信完了 操作方法は“～エリアリサーチ機能～”（6 ページ）を参照してください

マニュアルでチャンネルを変える（通常は変える必要はありません）

A1-ch ～ E2-ch、L-ch には出荷時に予め任意のチャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを 01 ～ 82 の中から選んで変更することができます

変更する方法は、エリアリサーチ機能を使って自動で新たにチャンネルを設定するか、手でチャンネルごとに希望するチャンネルを設定する方法があります

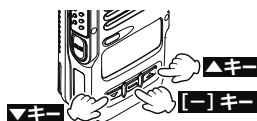
① エリアリサーチで設定する

エリアリサーチの方法は“～エリアリサーチ機能～”（6 ページ）を参照してください

② 手で設定する

始めに 1 台のチャンネルを変更する

1. 一度電源を切ります
2. テレポートキーを押しながら電源を入れます
 - 1) [▼]/[▲] キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
 - 2) [－] キーを短押しします（チャンネル番号が点滅します）
 - 3) [▼]/[▲] キーを短押ししてチャンネルを変えます
 - 4) [－] キーを短押しします（チャンネル番号が点滅から点灯に変わります）
3. 下記の“エアクローン”で、他の SRD595 へ変更したチャンネルをコピーします



次に他の SRD595 へ変更したチャンネルをエアクローンで同期する

①

全ての SRD595 でテレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



“受信待機”の表示になるまで待ちます

エアクローン
受信待機

②

チャンネルを変えた SRD595 のアクセスキーを短押しすると全ての SRD595 のチャンネルが同期されます



チャンネル情報が送信されます

エアクローン
送信実行

③

全ての SRD595 が通話ができるようになります

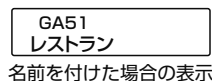


- ・すでに他の ch に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません
- ・“CH15”は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません

グループチャンネルに名前を付けて表示する

グループモード時の画面に表示されるチャンネルに、名前を付けて表示することができます

専用のエディターを使用しますので、ご希望の場合はお買い上げいただきました弊社代理店にご相談ください



ワンクリックハンズフリー機能

・アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”を使用すると、両手で作業をしながら通話ができますので効率よく作業を行うことができます

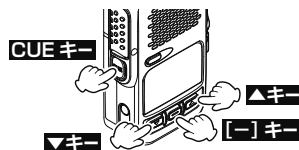
周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります

・オプションのタイピンマイク、スピーカーマイクをご使用ください

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲] キーを短押しして“8 アクセスキー動作”を選びます
ノーマルモードの時は“11 アクセスキー動作”を選びます
3. [－] キーを短押しします
4. [▼]/[▲] キーを短押ししてハンズフリーの感度を選びます（下記参照）
5. [－] キーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

8 アクセスキー動作
プレスツートーク



ワンクリックハンズフリー機能の感度を調節する

話をやめたのに受信状態に戻らない時や、逆に話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合は感度を変えてください

話をやめたのに受信状態に戻らない場合 → 8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度小

通常はこの設定で使用します → 8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度中

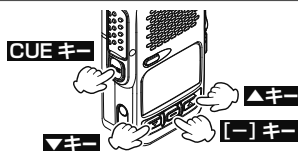
話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合 → 8 アクセスキー動作
ハンズフリー感度大

マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、機能設定項目で内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲] キーを**短押**して、設定する項目（下記参照）を選びます
3. [－] キーを**短押**します
4. [▼]/[▲] キーを**短押**して、設定を変えます
5. [－] キーを**短押**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



◎ マイクの感度を設定する

6 マイク感度
MID

→ 全体設定項目の“6 マイク感度”（ノーマルモード時は“9 マイク感度”）で設定します
マイク感度は LOW 1 ↔ LOW 2 ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大
工場出荷時は“MID”に設定されています

◎ 外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する

7 外部マイク感度
MID

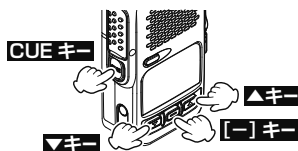
→ 全体設定項目の“7 外部マイク感度”（ノーマルモード時は“10 外部マイク感度”）で設定します
マイク感度は LOW 1 ↔ LOW 2 ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大
工場出荷時は“MID”に設定されています

アクセスキーを押した時の動作を変える

工場出荷時は、アクセスキーを押し続けている時だけ送信し、放すと受信に戻る動作になっています
この動作を、両手で作業をしながら通話ができる“ワンクリックハンズフリー”にしたり、“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲] キーを**短押**して“8 アクセスキー動作”（ノーマルモード時は“11 アクセスキー動作”）を選びます
3. [－] キーを**短押**します
4. [▼]/[▲] キーを**短押**して動作を選びます（下記参照）
5. [－] キーを**短押**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



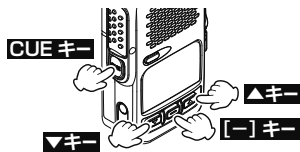
キーを押し続けているときだけ送信し、放すと受信に戻ります（工場出荷時の設定）	→	8 アクセスキー動作 プルスートーク
キーを 短押 して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります 周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします	→	8 アクセスキー動作 ハンズフリー感度小
キーを 短押 して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります 通常はこの設定で使います	→	8 アクセスキー動作 ハンズフリー感度中
キーを 短押 して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります 話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします	→	8 アクセスキー動作 ハンズフリー感度大
キーを短押すると送信を開始し、もう一度短押するまで送信を続けます	→	8 アクセスキー動作 連続送信
キーを押しても送信しません。受信専用になります	→	8 アクセスキー動作 受信専用

CUE 機能に関する設定

CUE 機能に関する設定をすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲]キーを**短押**して、設定する項目（下記参照）を選びます
3. [－]キーを**短押**します
4. [▼]/[▲]キーを**短押**して、設定を変えます
5. [－]キーを**短押**して設定を確認します
6. アクセスキーを**短押**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



◎ CUE 信号を受信した時のアラーム音量を調節する

3 CUEビープ音量
HIGH 1

→ 全体設定項目の“3 CUE ビープ音量”（ノーマルモード時は“6 CUE ビープ音量”）で設定します
ビープの音量は OFF ↔ LOW ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
音量オフ 音量小 音量大
工場出荷時は“HIGH 1”に設定されています

◎ CUE 信号を受信した時のアラーム音の種類を変更する

F4 CUEビープ音
TYPE-A

→ 全体設定項目の“F4 CUE ビープ音”で設定します
アラーム音の種類は“TYPE-A”（工場出荷時の設定）“TYPE-B”“TYPE-C”の3種類から選べます

◎ CUE 信号送信のオン / オフ

F3 CUE送信
ON

→ 全体設定項目の“F3 CUE 送信”で設定します
ON : CUE キーを押すと CUE 信号を送信します（工場出荷時の設定）
OFF : CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません

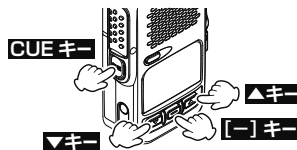
特定のスタッフだけと通話する（ホットライン機能）

1つのグループで運用中に、グループ内の特定のスタッフだけと通話することができます（あらかじめ設定が必要です）
アクセスキーを押して話すと同じグループの全員と通話できますが、CUE キーを押して話すと特定のスタッフだけと通話ができ、他のスタッフには通話内容が聞こえません
あらかじめ下記の設定をしたスタッフだけがホットライン機能で通話できます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲]キーを**短押**して“F13 ホットライン機能”を選びます
3. [－]キーを**短押**します
4. [▼]/[▲]キーを**短押**して“ON”を選びます
5. [－]キーを**短押**して設定を確認します
6. アクセスキーを**短押**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

F13 ホットライン機能
ON



ホットライン機能で通話する

1. CUE キーを押したままにして、画面に“HL”が点滅したら話します
相手の画面には“HL”が点灯します
2. CUE キーを放すと受信に戻ります
“HL”の点滅がチャンネル番号表示に戻ります

Bluetooth スピーカーマイク / ヘッドセットで ワイヤレス通信を行う (SRD595-BT のみ)

オプションの Bluetooth スピーカーマイク “SSM-BT30” や Bluetooth ヘッドセット “SSM-BT20” を使用してケーブルの無いハンズフリー運用ができます

i 市販の Bluetooth ヘッドセットも使用できますが、すべての Bluetooth ヘッドセットの動作を保証するものではありません。当社の “SSM-BT30” または “SSM-BT20” のご使用をお勧めします

SSM-BT30 や SSM-BT20 を使用するには、本機への登録（ペアリング）が必要です
この操作は最初に一度だけで必要で、次回からはトランシーバーと SSM-BT30/SSM-BT20 の電源を入れるだけで自動で接続されます

SSM-BT30/SSM-BT20 をペアリングモードにします

SSM-BT30 → 電源スイッチを**長押し**

SSM-BT20 → マルチファンクションキーを**長押し**

LED が赤と青で点滅します

続けてトランシーバー側の設定を行います



CUE キーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を
入れます

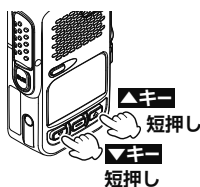


設定項目が表示されます



[▼]/[▲] キーを短押しして
“11 ブルートゥース” を選びます

ノーマルモードの時は
“14 ブルートゥース” を選択します



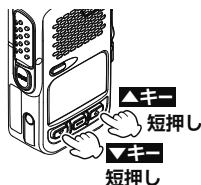
[－] キーを短押しします



現在の設定が点滅します



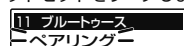
[▼]/[▲] キーを短押しして
“ON” にします



[－] キーを短押しします



ヘッドセットをサーチします



[－] キーを短押しします

接続するヘッドセットが表示
されたら [－] キーを短押し
します



アクセスキーを短押しします
自動で電源がオフ → オンになり
通常の運用画面になります

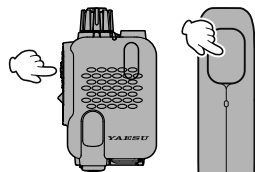


トランシーバーと SSM-BT30/SSM-BT20 が接続中は“✱”が点灯します

CH51✱

SSM-BT30/SSM-BT20 でハンズフリー運用をする

SSM-BT30 は“アクセスキー”、SSM-BT20 は“送信ボタン（マルチファ アクセスキーンクションボタン）”を**短押**して話します 送信ボタン
話すのをやめると“プブッ”と音がして自動で受信に戻ります



まわりの声や騒音などで、話が終わっても受信に戻らないときがあります
その場合は、もう一度送信ボタンを押すと受信に戻ります

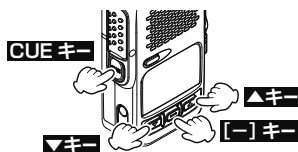
SSM-BT30/SSM-BT20 のマイクの感度を変える

Bluetooth ヘッドセットを使用している時に相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲] キーを**短押**して“12 ブルートゥースマイク感度”を選びます
ノーマルモードの時は“15 ブルートゥースマイク感度”を選びます
3. [－] キーを**短押**します
4. [▼]/[▲] キーを**短押**して、設定を変えます

12 ブルートゥースマイク感度
MID



マイク感度は LOW 1 ↔ LOW 2 ↔ MID ↔ HIGH 1 ↔ HIGH 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“MID”に設定されています

5. [－] キーを**短押**して設定を確認します
6. アクセスキーを**短押**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

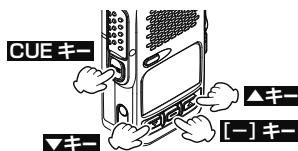
Bluetooth に関する設定だけを初期化（リセット）する

Bluetooth スピーカーマイクやヘッドセットを変えたり使わない時は、Bluetooth に関する設定だけをリセットできます（他の設定はリセットされません）

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲] キーを**短押**して“13 ブルートゥース初期化”を選びます
ノーマルモードの時は“16 ブルートゥース初期化”を選びます
3. [－] キーを**短押**します
“実行する”の表示が点滅します
4. [－] キーを**短押**すると初期化を行います
“初期化中” → “初期化完了”と表示が変わります
5. “11 ブルートゥース”の表示になったら、初期化は完了です
ノーマルモードの時は“14 ブルートゥース”の表示になったら、初期化は完了です
6. アクセスキーを**短押**します（自動で電源がオフ → オンになります）

13 ブルートゥース初期化
実行する



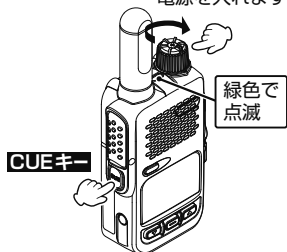
全体設定

27種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUEキーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



設定項目が表示されます



②

[▼]/[▲] キーを短押しして
設定する項目を選びます



③

[－] キーを短押しします

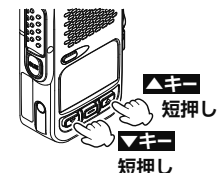


現在の設定が点滅します



④

[▼]/[▲] キーを短押しして
設定値を変えます



⑤

[－] キーを短押しします
設定項目に戻ります



設定が反映されます



⑥

アクセスキーを短押し



自動で電源がオフ → オンになり
通常の運用画面になります

機能項目	出荷時の設定	機能
1 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面、キーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
2 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
3 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
4 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
5 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF → LOW → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量オフ 音量小 → 音量中 → 音量大
6 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度中 → 感度大
7 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度中 → 感度大
8 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを 短押し して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを 短押し して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを 短押し して送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを 短押し すると送信を開始し、もう一度 短押し するまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
9 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ～レベル 15 （数字が大きいくほど明るくなります）
10 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン / オフできます	ON	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします ON ノイズキャンセル機能をオンにします
11 ブルートゥース (SRD595-BT のみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフできます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
12 ブルートゥースマイク感度 (11 ブルートゥースが ON の時のみ表示されます) Bluetooth スピーカーマイクやヘッドセットのマイク感度を調節できます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度中 → 感度大
13 ブルートゥース初期化 (11 ブルートゥースが ON の時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化できます	1. “13 ブルートゥース初期化” にあわせませす 2. [－] キーを 短押し します “実行する” が点滅します 3. [－] キーを 短押し します “初期化完了” が点灯 → “11 ブルートゥース” の項目が表示されたら終了です	

機能項目	出荷時の設定	機能
F1 受信ビープ音 受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフできます	ON (始 / 終)	ON (開始) 相手の通話を受信開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 相手の通話が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始 / 終) 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F2 送信ビープ音 送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます	ON (終了)	ON (開始) 送信を開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 送信が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始 / 終) 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F3 CUE 送信 CUE 信号の送信機能をオフにすることができます	ON	ON CUE キーを押すと CUE 信号を送信します (通常はこの状態で使用します) OFF CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません
F4 CUE ビープ音 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を選択できます	TYPE-A	好みにあわせて 3 パターン (TYPE-A / TYPE-B / TYPE-C) から選択することができます
F5 外部マイク接続時 外部マイクを接続した時に、本体のアクセスキーを無効にできます	アクセスキー有効	アクセスキー有効 外部マイクを接続してもトランシーバー本体のアクセスキーは有効です アクセスキー無効 外部マイクを接続すると、トランシーバー本体のアクセスキーは無効になります 本体マイク有効 イヤピースや外部マイクを接続したとき、トランシーバー本体のマイクが有効になります
F6 バッテリーセーブ バッテリーの消費を抑える機能のオン / オフを選択できます	OFF	ON バッテリーセーブ機能がオンになります OFF バッテリーセーブ機能がオフになります
F7 オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わない場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます	OFF	OFF 自動で電源はオフになりません (通常はこの状態で使用します) 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 8 時間 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます
F8 送信出力 送信出力を下げてバッテリーの持続時間を延ばすことができます	HIGH (2W)	HIGH (2W[*]) / LOW (0.5W) / MID (1W) ※上空チャンネルでは HIGH に設定しても 1W になります
F9 RX イコライザー 受信音を好みの音質に変更することができます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F10 TX イコライザー 送信音を好みの音質に変更できます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F11 秘話 他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
F12 秘話コード 秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
F13 ホットライン機能 1 つのグループで運用中に、特定のスタッフとだけ通話することができます	OFF	ON CUE キーを押しながら話すと “ON” に設定したスタッフとだけ通話ができます OFF ホットライン機能は動作しません
F14 設定内容転送 全体設定の設定内容を他の SRD595 にコピーすることができます		1. 設定を送るトランシーバーと受けるトランシーバーを “F14 設定内容転送” にあわせます (“準備中” の表示が “受信待機” になるまで待ちます) 2. 設定を送るトランシーバーのアクセスキーを短押しします “送信実行” が表示されます 3. コピーが終了すると設定を受けた側のトランシーバーが自動で電源がオフ → オンになります 4. 設定を送った側のトランシーバーは、手で電源を入れなおしてください
F15 設定リセット 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		1. “F15 設定リセット” にあわせます 2. [-] キーを短押し (“実行する” が点滅します) 3. [-] キーを短押し “リセット完了” が点灯 → 自動で電源がオフ → オンになります

ノーマルモードで使用する

YAESUコネクトの機能を持たないトランシーバーと
通話する時のモードです

ノーマルモード

ノーマルモードで運用する場合は、始めにグループ内の全てのSRD595の運用モードを“ノーマルモード”に変更してください

変更方法は“① 始めに運用モードを変更する（工場出荷時は1グループモードです）”（4ページ）を参照してください

ヤエスコネクト ライトの機能は使えません

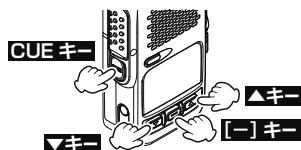
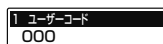
画面に表示されている1つのチャンネルだけで通話を行います

UC（ユーザーコード）を変更する

本機のユーザーコードは、工場出荷時に“000”に設定されています。“000”はコードが異なる信号も受信できますので、他のグループとの混信を避けるため“000”以外に設定することをお勧めします

設定方法

1. CUEキーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲]キーを短押しして“1 ユーザーコード”を選びます
3. [－]キーを短押しすると、1桁目の数字が点滅します
4. [▼]/[▲]キーを短押しして、数字を選びます
ユーザーコードは“000”～“511”を設定できます
5. [－]キーを短押しすると、数字が確定して左の桁に移動します
6. 手順4～5を繰り返して3桁の数字を設定します
7. [－]キーを短押しします



8. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

通話するチャンネルを変更する

使用するチャンネルを01～82の中から選んで変更することができます

[▼]/[▲]を短押ししてチャンネルを変えます（01～82から選べます）



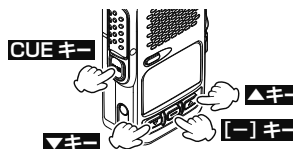
上空用のチャンネルを使用する

パラグライダーなどで上空で運用する際は、上空用チャンネル“CHS01”～“CHS15”を使用します

上空で運用する場合は必ず“CHS01”～“CHS15”を使用してください。その他のチャンネルを上空で使用することは禁止されています

設定方法

1. CUEキーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲]キーを短押しして“F11 使用チャンネル”を選びます
3. [－]キーを短押しします
4. [▼]/[▲]キーを短押しして“上空チャンネル”または“全チャンネル”を選びます
5. [－]キーを短押しします



6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

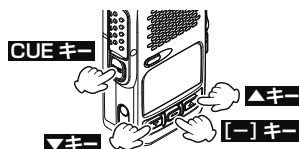
2つのチャンネルを使用する

メインチャンネルとセカンドチャンネルのどちらのチャンネルの信号も受信することができます
送信は、アクセスキーを押すと“メインチャンネル”で送信、CUE キーを押すと“セカンドチャンネル”
で送信します

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲]キーを**短押し**して“F14 CUE キー短押し”の設定項目を選びます
3. [－]キーを**短押し**します
4. [▼]/[▲]キーを**短押し**して“セカンドリ PTT”選びます
5. [－]キーを**短押し**します

F14 CUEキー 短押し
CUE



6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

- ・メインチャンネルで送信するとき → アクセスキーを押す
- ・セカンドチャンネルで送信するとき → CUE キーを押す
- ・信号を受信した時の“ピープ音”と“LED インジケータの色”でメインチャンネルの信号かセカンドチャンネルの信号かを区別できます

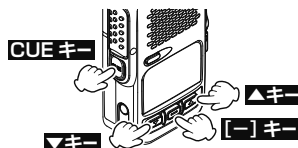
	ピープ音	LED インジケータの色
メインチャンネルの信号	ビッ	緑の点滅
セカンドチャンネルの信号	ビビッ	オレンジの点滅

セカンドチャンネルで送信するチャンネルを変える

CUE キーを押して送信するセカンドチャンネルのチャンネルを変更することができます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼]/[▲]キーを**短押し**して“F20 2nd 送信チャンネル”の設定項目を選びます
3. [－]キーを**短押し**します
4. [▼]/[▲]キーを**短押し**して“セカンドチャンネルにしたいチャンネル番号”を選びます
5. [－]キーを**短押し**します

F20 2nd送信チャンネル
CH02



6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

マイクの感度を変える → 20 ページ参照

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時に、内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

アクセスキーを押した時の動作を変える → 20 ページ参照

工場出荷時は、アクセスキーを押し続けている時だけ送信し、放すと受信に戻る動作になっています
この動作を、両手で作業をしながら通話ができる“ワンクリックハンズフリー”にしたり、“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

CUE 機能に関する設定 → 21 ページ参照

CUE 信号を受信した時に鳴るピープ音の音量と音の種類設定することができます

Bluetooth ヘッドセットを使う → 22 ページ参照

オプションの Bluetooth スピーカーマイク“SSM-BT30”やヘッドセット“SSM-BT20”を使用して、ケーブルの無いハンズフリー運用ができます

簡易機能の変更

使用頻度の高い 16 種類の設定項目をすぐに呼び出すことができます

①

[-] キーを長押しします

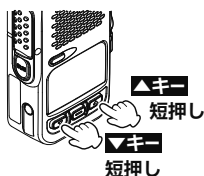


設定項目が表示されます



②

[▼]/[▲] キーを短押しして
設定する項目を選びます



③

[-] キーを短押しします

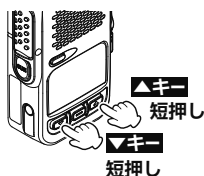


現在の設定が点滅します



④

[▼]/[▲] キーを短押しして
設定値を変えます

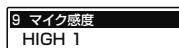


⑤

[-] キーを短押しします
設定項目に戻ります



設定が反映されます



⑥

アクセスキーを短押しします
通常の運用画面に戻ります



簡易設定で変更できる項目

機能項目	出荷時の設定	機能
1 ユーザーコード 通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
2 秘話機能 他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます（秘話通信）	OFF	OFF 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います） ON 秘話機能が動作します
3 秘話コード 秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
4 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消することができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面、キーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
5 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
7 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます（通常はオンにしておきます）	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
8 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
9 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
10 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
11 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
12 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15（数字が大きいくほど明るくなります）
13 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン/オフできます	ON	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします ON ノイズキャンセル機能をオンにします

機能項目	出荷時の設定	機能
14 ブルートゥース (SRD595-BT のみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフできます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします
15 ブルートゥースマイク感度 (14ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth スピーカーマイクやヘッドセットのマイク感度を調節できます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → 感度大
16 ブルートゥース初期化 (14ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化できます	1. “16 ブルートゥース初期化” にあわせませす 2. [－] キーを 短押し します “実行する” が点滅します 3. [－] キーを 短押し します “初期化完了” が点灯 → “14 ブルートゥース” の項目が表示されたら終了です	

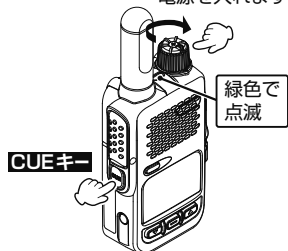
全体設定

40種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUEキーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます

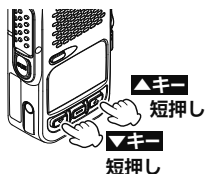


設定項目が表示されます



②

[▼]/[▲] キーを短押して
設定する項目を選びます



③

[－] キーを短押しします

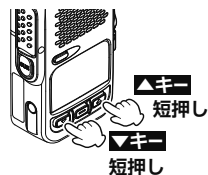


現在の設定が点滅します



④

[▼]/[▲] キーを短押して
設定値を変えます



⑤

[－] キーを短押しします
設定項目に戻ります



設定が反映されます



⑥

アクセスキーを短押し



自動で電源がオフ → オンになり
通常の運用画面に戻ります

機能項目	出荷時の設定	機能
1 ユーザーコード 通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
2 秘話機能 他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
3 秘話コード 秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
4 バックライト 画面とキーの照明を消しておきたいような場合に照明を消すことができます	ON	ON 画面とキーの照明、LED インジケータが点灯します OFF 画面とキーの照明は点灯しません。LED インジケータは点灯します 全消灯 画面、キーの照明、LED インジケータが点灯しなくなります 明かりの使用を制限された特別な環境で使用する時のみ設定してください
5 ビープ音量 トランシーバーを操作したときに鳴るビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
6 CUE ビープ音量 CUE 信号を受信した時に鳴る CUE ビープ音の音量を選択できます	HIGH 1	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
7 受信ビープ音量 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます (通常はオンにしておきます)	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
8 送信ビープ音量 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するビープ音の音量を選択できます	MID	OFF 音量オフ → LOW 音量小 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 音量大
9 マイク感度 相手から「声が小さい」などと言われた時に、内部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
10 外部マイク感度 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節できます	MID	LOW 1 感度小 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度大
11 アクセスキー動作 送話するときの動作を選択できます	ブレスツートーク	ブレスツートーク キーを押し続けているときだけ送信します 放すと受信に戻ります ハンズフリー感度小 キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします ハンズフリー感度中 キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います ハンズフリー感度大 キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします 連続送信 キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます 受信専用 キーを押しても送信しません。受信専用になります
12 バックライト明るさ 画面とキーのバックライトの明るさを変えることができます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15 (数字が大きいくほど明るくなります)
13 ノイズキャンセル 送信時に周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができる機能をオン / オフできます	ON	OFF ノイズキャンセル機能をオフにします ON ノイズキャンセル機能をオンにします
14 ブルートゥース (SRD595-BT のみ表示されます) Bluetooth 機能をオン / オフできます	OFF	OFF Bluetooth 機能をオフにします ON Bluetooth 機能をオンにします

機能項目	出荷時の設定	機能
15 ブルートゥースマイク感度 (14ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節できます	MID	LOW 1 → LOW 2 → MID → HIGH 1 → HIGH 2 感度小 → → → → 感度大
16 ブルートゥース初期化 (14ブルートゥースがONの時のみ表示されます) Bluetooth に関する設定だけを初期化できます		1. “16 ブルートゥース初期化” にあわせませす 2. [-] キーを 短押 します “実行する” が点滅します 3. [-] キーを 短押 します “初期化完了” が点灯 → “14 ブルートゥース” の項目が表示されたら終了です
F1 受信ビープ音 受信時に相手の通話開始・終了を確認するビープ音をオフにすることができます	ON (始 / 終)	ON (開始) 相手の通話を受信開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 相手の通話が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始 / 終) 受信開始と受信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F2 送信ビープ音 送信時に自分の通話開始・終了を確認するビープ音を鳴らすことができます	ON (終了)	ON (開始) 送信を開始した時だけビープ音が鳴ります ON (終了) 送信が終了した時だけビープ音が鳴ります ON (始 / 終) 送信開始と送信終了時にビープ音が鳴ります OFF ビープ音は鳴りません
F3 CUE 送信 CUE 信号の送信機能をオフにすることができます	ON	ON CUE キーを押すと CUE 信号を送信します (通常はこの状態で使用します) OFF CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません
F4 CUE ビープ音 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を選択できます	TYPE-A	好みにあわせて 3 パターン (TYPE-A / TYPE-B / TYPE-C) から選択することができます
F5 外部マイク接続時 外部マイクを接続した時に、本体のアクセスキーを無効にすることができます	アクセスキー有効	アクセスキー有効 外部マイクを接続してもトランシーバー本体のアクセスキーは有効です アクセスキー無効 外部マイクを接続すると、トランシーバー本体のアクセスキーは無効になります 本体マイク有効 イヤブリスや外部マイクを接続したとき、トランシーバー本体のマイクが有効になります
F6 バッテリーセーブ バッテリーの消費を抑える機能のオン / オフを選択できます	OFF	ON バッテリーセーブ機能がオンになります OFF バッテリーセーブ機能がオフになります
F7 オートパワーオフ 一定時間何も操作を行わない場合に自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます	OFF	OFF 自動で電源はオフになりません (通常はこの状態で使用します) 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 8 時間 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます
F8 送信出力 送信出力を下げてバッテリーの持続時間を延ばすことができます	HIGH (2W)	HIGH (2W*) / LOW (0.5W) / MID (1W) ※上空チャンネルでは HIGH に設定しても 1W になります
F9 RX イコライザー 受信音を好みの音質に変更できます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F10 TX イコライザー 送信音を好みの音質に変更できます	OFF	OFF イコライザーは無効になり、通常の音質になります 低域強調 低域が強調された音質になります 中域強調 中域が強調された音質になります 高域強調 高域が強調された音質になります
F11 使用チャンネル 使用するチャンネルを“陸上用チャンネル” “陸上用と上空用の両方のチャンネル” “上空用チャンネル” から選択できます	陸上チャンネル	陸上チャンネル 陸上用チャンネル (CH01 ~ CH82) だけで運用します 全チャンネル 陸上用 (CH01 ~ CH82) と上空用 (CHS01 ~ CHS15) の全てのチャンネルで運用します 上空チャンネル 上空用チャンネル (CHS01 ~ CHS15) だけで運用します
F12 弱電界アラーム 受信信号が微弱になったことをアラームで知らせる機能をオン / オフできます	OFF	OFF 弱電界アラーム機能は動作しません ON 弱電界アラーム機能が動作します
F13 コントラスト 画面表示のコントラストを調節できます	レベル 08	レベル 01 ~ レベル 15 (数字が大きいほどコントラストが強くなります)

機能項目	出荷時の設定	機能
F14 CUE KEY 短押し CUE キーを 短押し した時の動作を選択します “セカンダリ PTT” にすると “ F15 ” は自動的に “無効” の設定になります	CUE	CUE メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ります キーロック アクセスキー以外のキーをロック/ロック解除します セカンダリ PTT セカンドチャンネルで送信します 無効 短押しは無効になります
F15 CUE KEY 長押し CUE キーを 長押し した時の動作を選択します “ F14 ” の設定を “セカンダリ PTT” にした時は “無効” 以外は選べません	無効	PA 現在のチャンネルで PA 機能が動作します “F18 PA 送信” が ON の時のみ設定できます PA+ “F20 2nd 送信チャンネル” で設定したチャンネルで PA 機能が動作します “F18 PA 送信” が ON の時のみ設定できます キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします 無効 長押しは無効になります
F16 外部 2nd キー短押し オプションのスピーカーマイクの CUE キーおよび、オプションの Bluetooth スピーカーマイク “SSM-BT30” の CUE キーを 短押し した時の動作を選択します “セカンダリ PTT” にすると “ F17 ” は自動的に “無効” の設定になります	無効	CUE メンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ります キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします セカンダリ PTT セカンドチャンネルで送信します 無効 短押しは無効になります
F17 外部 2nd キー長押し オプションのスピーカーマイクの CUE キーおよび、オプションの Bluetooth スピーカーマイク “SSM-BT30” の CUE キーを 長押し した時の動作を選択します “ F16 ” の設定を “セカンダリ PTT” にした時は “無効” 以外は選べません	無効	PA 現在のチャンネルで PA 機能が動作します “F18 PA 送信” が ON の時のみ設定できます PA+ “F20 2nd 送信チャンネル” で設定したチャンネルで PA 機能が動作します “F18 PA 送信” が ON の時のみ設定できます キーロック アクセスキー以外のキーをロック / ロック解除をします 無効 長押しは無効になります
F18 PA 送信 構内アナウンス用スピーカーから音声を出すことができます	OFF	ON PA 送信機能がオンになります OFF PA 送信機能がオフになります
F19 PA 受信 PA 機能の音声をトランシーバーのスピーカーから出力しないようにできます	OFF	ON PA 機能で送信された内容を自分のトランシーバーのスピーカーで聞くことができます OFF PA 機能で送信された内容を自分のトランシーバーで聞くことはできません
F20 2nd 送信チャンネル “ F14 ” または “ F16 ” の設定を “セカンダリ PTT”、“ F15 ” または “ F17 ” の設定を “PA+” にした時に送信するチャンネルを選択できます	CH02	“ F11 使用チャンネル ” の設定により選択できるチャンネルは異なります “CH15” は呼び出しチャンネルですので選ぶことはできません “ F11 ” が “陸上チャンネル” の時 CH01 ~ CH82 “ F11 ” が “全チャンネル” の時 CH01 ~ CH82 CHS01 ~ CHS15 “ F11 ” が “上空チャンネル” の時 CHS01 ~ CHS15
F21 ユーザーコード (2nd) セカンダリ PTT で通話時に使用するユーザーコードを設定します	000	000 ~ 511
F22 秘話機能 (2nd) セカンダリ PTT で通話時に、他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます (秘話通信)	OFF	OFF 秘話機能は動作しません (通常はこの状態で使います) ON 秘話機能が動作します
F23 秘話コード (2nd) セカンダリ PTT で秘話通信をする時の秘話コードを設定します	00001	00001 ~ 32767
F24 設定内容転送 全体設定の設定内容を他の SRD595 にコピーすることができます	1. 設定を送るトランシーバーと受けるトランシーバーを “ F24 設定内容転送 ” にあわせてす (“準備中” の表示が “受信待機” になるまで待ちます) 2. 設定を送るトランシーバーのアクセスキーを 短押し します “送信実行” が表示されます 3. コピーが終了すると設定を受けた側のトランシーバーが自動で電源がオフ → オンになります 4. 設定を送った側のトランシーバーは、手で電源を入れなおしてください	
F25 設定リセット 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます	1. “F25 設定リセット” にあわせてす 2. [-] キーを 短押し (“実行する” が点滅します) 3. [-] キーを 短押し “リセット完了” が点灯 → 自動で電源がオフ → オンになります	

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）

CUE キーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



[▼] または [▲] キーを短押しして
“F15 設定リセット” を選びます

※ ノーマルモードの時は
“F25 設定リセット” を選びます



F15 設定リセット
実行する

▲キー 短押し

▼キー 短押し



[-] キー
短押し

F15 設定リセット
実行する



[-] キー
短押し

F15 設定リセット
リセット完了

工場出荷時の状態に戻ります

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください

◎ 電源が入らない！

- ・リチウムイオンバッテリーが消耗していませんか？
→ リチウムイオンバッテリーを充電してください
- ・リチウムイオンバッテリーの端子が接触不良になっていませんか？
→ 端子を乾いた布で拭いてください
- ・リチウムイオンバッテリーが古くなっていませんか？
→ リチウムイオンバッテリーの寿命です。新しいリチウムイオンバッテリーとお取り替えください

◎ 送信できない！

- ・アクセスキーを正しく押していますか？
- ・アクセスキー動作が“受信専用”になっていませんか？

◎ 音がでない！

- ・相手局と同じグループ ID に設定していますか？

◎ 通話できない！

- ・相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・相手局と同じグループ ID に設定していますか？
- ・秘話通信機能が動作していませんか？
→ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと通話できません

◎ “ロック中”と表示されてキーの操作ができない！

- ・ロック機能が動作しています。以下の操作でロック機能を解除してください
[▼] キーを長押しします

電波干渉について

近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の電波の干渉により通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル（例：“01”と“02”）でご使用を避けていただき、離れたチャンネルを設定していただくことで干渉を軽減することができます

2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意

本製品の Bluetooth を使用して通信をするときは、以下のことに注意してください

この通信の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか Bluetooth のご使用をお控えください
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社国内営業部（電話 03-6404-6525）にお問い合わせください

本製品の Bluetooth の使用周波数・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否を以下に示します

2.4FH1 ■■■■	「2.4」	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備
	「FH」	: FH-SS 方式
	「1」	: 想定干渉距離 10m 以下
	「■■■■」	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局の帯域を回避可

Bluetooth のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください
製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

TEL : 03-6404-6525

◎保証期間はお買い上げの日より 3 年間です

本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った
正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします

誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります

◎リチウムイオンバッテリーは消耗品のため保証対象外です

化学的経年劣化なども保証対象外になります

◎リチウムイオンバッテリーは消耗品です

充電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合
はリチウムイオンバッテリーの寿命です

定格

送受信周波数	デジタル簡易無線登録局 (6.25kHz 間隔、82 波) 351.03125MHz ~ 351.10000MHz 351.20000MHz ~ 351.63125MHz 上空用チャンネル (6.25kHz 間隔、15 波) 351.10625MHz ~ 351.19375MHz
電波形式	F1C/F1D/F1E/F1F
変調方式	4 値 FSK
通信方式	単信プレストーク式
送信出力	2W/1W/0.5W (上空用チャンネルでは最大 1W になります)
電池持続時間	約 13 時間*
受信感度	-6dBuV 以下 (BER=1% 時)
低周波出力	1200 mW 以上 (内蔵スピーカー 4Ω、10%歪時) 500 mW 以上 (外部マイクスピーカー 8Ω、10%歪時)
動作温度範囲	-20℃ ~ +60℃
定格電圧	DC3.7V ± 10%
本体寸法	約 W48mm × H89mm × D25mm (突起物含まず)
本体重量	約 150g (SBR-53LI を含む)

※送信出力 2W、送信 5 : 受信 5 : 待受け 90 の割合による運用時
(ノーマルモード、バッテリーセーブ機能オン、Bluetooth 機能オフ)

安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください

 **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています

 **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

 行ってはならない禁止事項です (例  分解禁止)

 必ず守っていただきたい注意事項です

危険

 自動車を運転しながら交信や操作をしない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります

運転者が使用するときは、車を安全な場所に止めてからご使用ください

 航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります

 引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない

発火事故や落下事故などの原因になります

 電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしない

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください

 リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります

警告

 分解や改造をしない
本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です
分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります

 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります

 心臓ペースメーカー装着者は使用しない
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります

 当社指定以外の充電器を使用しない

火災や故障の原因になります

 煙が出ている、変な臭いが出るときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す

火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください

 心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります

注意

 指定以外のオプションを使用しない

ケガの原因になります

また、本体の故障や破損の原因にもなります

 強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない

故障の原因になります

 リチウムイオンバッテリーを指定の充電器で充電するときの温度範囲は 5℃～35℃です

これ以外の温度での充電は、故障の原因になります

 磁気カードなどをトランシーバーに近づけない

キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります

 トランシーバーを直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない

変形や変色等の原因になります

 シンナーやベンジンなどでケースを拭かない

変形や変色等の原因になります

ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください

索引

記号

ーキーの操作	10
▲キーの操作	10
▼キーの操作	10

数字

1つのグループで使う	3
2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意	38
2～5グループで使う	4
2つのチャンネルを使用する	29

B

Bluetooth スピーカーマイク / ヘッドセットでワイヤレス通信を行う	22
Bluetooth に関する設定だけを初期化 (リセット) する	23

C

CUE KEY 短押し	36
CUE KEY 長押し	36
CUE キーの操作	10
CUE 機能に関する設定	21
CUE (キュー) 機能	7
CUE 送信	26、35
CUE ビープ音	26、35
CUE ビープ音量	14、25、31、34

I

IP67	1
------------	---

L

LED インジケータ	10
LOCK 機能	7

M

MERGE (マージ) 機能	5
----------------------	---

P

PA 受信	36
PA 送信	36

R

RX イコライザー	26、35
-----------------	-------

S

SSM-BT20 でワイヤレス通信を行う	22
SSM-BT20 のマイクの感度を変える	23
SSM-BT30 でワイヤレス通信を行う	22
SSM-BT30 のマイクの感度を変える	23

T

TX イコライザー	26、35
-----------------	-------

U

UC (ユーザーコード) を変更する	28
--------------------------	----

あ

合図を送る (CUE 機能)	7
アクセスキーの操作	10
アクセスキーを押した時の動作を変える	20
アフターサービス	39
安全上のご注意	40

い

イヤホンの接続 / 取り外し	9
----------------------	---

う

運用モードを変更する	4
------------------	---

え

エアクローン	7、11
エリアリサーチ機能	6

お

応用編	15
オートパワーオフ	26、35

か

外部 2nd キー短押し	36
外部 2nd キー長押し	36
外部マイクの感度を設定する	20
各部の名前と機能	10
簡易機能の変更	13
簡易設定で変更できる項目	14

き

キュー (CUE) 機能	7
キュー機能に関する設定	21

く

グループ ID を変える	12
グループ以外の通話が聞こえる時は グループ ID を変える	12
グループチャンネルに名前を付けて表示する	19

こ

工場出荷時の状態に戻す (リセット)	37
故障かな?と思う前に	37
ご使用になる前の準備	8
コントラスト	36

し

弱電界アラーム	35
充電をする	8
受信ビープ音	26、35
受信ビープ音量	14、25、31、34
上空用のチャンネルを使用する	28

す

スピーカーマイクの接続 / 取り外し	9
--------------------------	---

せ

正常に動かない時 (リセット)	37
セカンドチャンネル	29
設定内容転送	26、36
全体設定	24

そ	
送信出力.....	26、35
送信ビーブ音.....	26、35
送信ビーブ音量.....	14、25、31、34
た	
タイピンマイクの接続 / 取り外し.....	9
正しくご使用いただくために.....	1
ち	
チャンネルを変える.....	18
チャンネルを変更する.....	28
つ	
通話ができなくなったとき.....	11
て	
定格.....	39
テレポートキー.....	10
テレポート機能.....	3
テレポート機能を変更する.....	16
電波干渉について.....	38
と	
特定のスタッフだけと通話する.....	21
の	
ノイズキャンセル.....	14、25、31、34
ノーマルモードで使用する.....	27
は	
バックライト.....	14、25、31、34
バックライト明るさ.....	14、25、31、34
バッテリーセーブ.....	26、35
バッテリーの取り付け.....	8
ひ	
ビーブ音量.....	14、25、31、34
秘話.....	26
秘話コード.....	26
ふ	
ブルートゥーススピーカーマイク / ヘッドセットでワイヤレス通信を行う.....	22
ブルートゥースに関する設定だけを初期化 (リセット) する.....	23
ほ	
防水性能について.....	1
ホットライン機能.....	21
ま	
マージ機能.....	5
マイクの感度を変える.....	20
マニュアルでチャンネルを変える.....	18
め	
メインチャンネル.....	29
メニューキーの操作.....	10
メンバーに合図を送る (キュー機能).....	7

ゆ	
ユーザーコードを変更する.....	28
り	
リセット.....	37
リチウムイオンバッテリーの取り付け.....	8
ろ	
ローバッテリーアラート機能.....	8
ロック機能.....	7
わ	
ワンクリックハンズフリー機能.....	19

YAESU

Radio for Professionals

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください
取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります

八重洲無線株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

電話：03-6404-6525

URL：<https://connect.yaesu.com>

2607A-AS

Printed in Japan



E N 0 4 9 U 0 5 0